

障害者計画・障害福祉計画基本理念についての意見

項目	意見
あんしん	今回の大震災のような、緊急事態に対応するものがあんしんに入っても良いのではないか。
あんしん	障害者基礎調査からも、情報の少なさ、特に精神障害者の課題が大きいことが示されている。あんしんにつながるかと思うが、情報提供、情報発信などをキーワードとして考えられないか。
いきがい	働くことは、いきがいでだけではない。生きるために必要なことで、違う視点が必要。
いきがい	いきがいの中に、「リズムをつくる」「ステップアップ」の視点が必要ではないか。
いきがい	3項目ともに一定程度の社会活動ができる人たち向けの理念になっているが、特にいきがいは障害の重い人に当てはまらない。
つながり	気づきというキーワードが抜けている。障害理解はまだまだ不足している。
つながり	最後のセーフティーネットではなく、いろいろなサービスにつながっていくための相談支援の充実が重要。
構成	生活そのものを表すキーワードが書ければ良い。自己決定できる場の提供という視点を盛り込むことが必要ではないか。
構成	3つのキーワードにまとめず、増やしてもいいのではないか。
構成	きれいごとではなく、もっと身近な生活という視点から基本理念を考えるべきではないか。「生活」「地域社会」「医療」といった言葉が、具体的な、本当に身近なキーワードになる。
構成	かつては「衣食住」が整うことが重要であったが、現在は「医食住」ではないか。
構成	「計画目標の趣旨」の中に、既に横串的な理念が含まれているため、基本理念で同じことを繰り返している。基本理念では、施策のまとめりやテーマごとのポイントなどを表した方が良いのではないか。
その他	障害の範囲に、法律で規定されている障害だけでなく、社会的障壁による方も含めた方が良いのではないか。
その他	やさしい言葉の基本理念と、その説明文で示されている項目の関係で、かえって分かりにくくしているのではないか。
その他	基本理念は人権尊重と自己実現に集約され、言い尽くされている。それをどうわかりやすく表現するかが、今のわれわれの問題である。あんしん、いきがい、つながりは今の障害者福祉の現状を良く表していると思う。
その他	どの立場から見ても、共有化し、理解できるような表現と工夫が必要である。

追加意見

構成	横軸の理念は良い。ただし、理念の続く項目が少ないため、分かりにくくしている。少なくともそれぞれ4項目程度必要ではないか。
構成	理念の中に、自らの責任の下に社会で生活していくべき主体であるという理念が欠如している。官側の上から目線の理念ではないか。
構成	医療環境として、「ふせぐ」「見守る」「手当する」といった標語も加え、視覚的イメージでも表現できれば良かった。
構成	施策充実のために、横断的な方向性で行くことを願う。行政の横断的な取り組みのみならず、区民の理解や助け合い（共助）が進み、深まることで、計画が達成されていくと思う。